

高機能司令センターの建設予算は、概ね5〜6億円。消防庁舎は27億円。今回は、先ず高機能指令センターを新設し、その後、消防庁舎の建設を検討しているようですが、消防庁舎の中に指令施設を入れ、一度に建設した場合には、1億5千万円の経費削減になるそうです。

審議会の中でも2案が意見として出されました。1案は、司令センターを庁舎北側の敷地に建設する。その後、庁舎を近い内に建設。2案は、25万人の2市1町の生命、身体、財産を守るためには、消防庁舎の建て替えは、各行政にとってプライオリティーの高いものであり、現庁舎は耐震構造の問題等老朽化しており、経費削減も考え、指令台と合わせて早急に建設すべきではないかという意見。

これらの審議会の意見が各正副管理者（2市1町の首長）に報告されることとなります。なお、敷地に関しては、庁舎は、下図の現庁舎の西側（左）の駐車場スペースに建設は可能とのことでした。

ちなみに、甲府市消防本部等の先進地の高機能指令センターは、通報者の発信地住所の表示、災害現場危険物の有無、高齢者等の情報が各出動車両のナビゲーション画面に表示される支援情報自動抽出システム、GPS衛生利用測位システムなどを装備し、最も災害現場に近い車両を順次出動させる最先端の技術を備えています。

119番通報があつてから発信者紹介まで1.9秒、そして指令を出すまで39秒。現場到着まで2分30秒短縮でき、蘇生率も高くなるそうです。

●学校給食の自校式の可能性を探る

厚生文教常任委員会では、12月25日、町内8校の小中学校を訪問し、学校敷地内に給食施設の建設が可能か所管事務調査を実施しました。学校給食センターの建て替えにあたり、センター方式と合わせ、自校式も検討すべく実施したものです。

見た目では、8校それぞれ面積の確保は可能のようですが、いくつかの課題も出てきました。学校によっては雨水管等が地下にあるなど埋設物の確認が必要であり、その他建築基準法、災害時の対策、駐車場の確保などを調査する必要があります。

また、以前から課題になっていた自校式の施設の基本設計やランニングコスト、センター方式との

費用面の比較も行わないと判断ができず、あらためて関係資料を担当課に用意していただき、再度2月に委員会を開催することになりました。併せて、町内で初めて体育館の耐震化工事を実施した東中学校体育館の視察も行いました。



校長先生から給食施設建設の可能性の説明を受ける委員



耐震化された東中学校体育館

今年は、阪神淡路大震災からちょうど15年、ハイチでも大地震が発生し多くの被災者が出ています。万が一の備えが急がれます。



群馬県太田市消防本部の高機能司令センター



ふじみ野市苗間の消防本部敷地

●トピックス

新春恒例の入間東部支部消防組合の出初め式が、1月10日三芳町にて、大変穏やかな天候に恵まれ行われました。今年一年災害のない年になることを祈ります。



三芳町消防団の分列行進



コピス前にて成人の皆さん

成人式が、コピスみよしで開催されました。今年、三芳町で成人を迎えられた方は、男女195人、女の172人の合計367です。おめでとうございます。ありがとうございます。